



# 小橋敏弘の ニッポン大好き! Hello Japan ヨーロッパ在住40余年、外から見ていた日本!

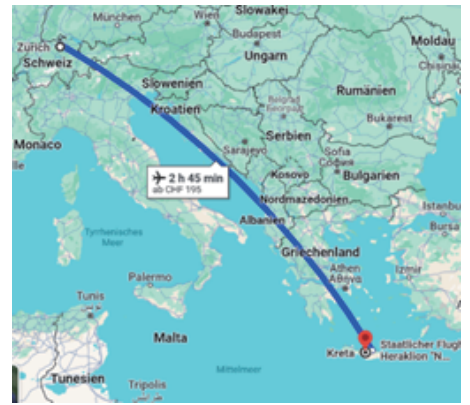
## Vol.16 -なぜに避暑地? 地中海に浮かぶ島、KRETA島の旅

ギリシャでは、日々、オリーブオイルを一杯使った料理に、赤白のギリシャワインを飲みながらの夕食、3日目にはそれもさすがに胃にもたれはじめ、日本食が物凄く恋しくなった筆者でした(爆笑)。

昨日、ギリシャに属する数ある地中海の島、クレタ島から帰国したばかりの実体験をご紹介します。ともあれ美味しい冷やしソーメンでもすすりながら、今回のストーリーをお読みください。

この原稿を執筆していますのは、2024年6月17日のスイス時間の午後の15時です。外の温度は25度、スイスでは比較的暑い部類のわりには、クーラーも必要なく、ほとんど汗もかかなくてすむ、湿度の低い典型的なスイスの夏の日です。ちなみにスイスでは、オフィスビルとかデパートを除いて、一般的な家庭にはクーラーは設置されていません。多分、日本の読者の皆さんは、猛暑の真ん中にいらつしやると思います。心から同情します。そんな涼しいところに住んでいるお前に、猛暑と日々戦っている日本人の大変さが分かるかと怒鳴られそうです。

皆さんお元気ですか、日本「人」大好きの小橋です。



さて、今回の最大のテーマは、「なぜヨーロッパでは、日本人が避暑地を求めるのに対して、わざわざ暑い国、イタリア、スペイン、そして今回筆者が行ったギリシャへ観光(避暑)へ行くのか」と言うことです。

さて、今回の最大のテーマは、「なぜヨーロッパでは、日本人が避暑地を求めるのに対して、わざわざ暑い国、イタリア、スペイン、そして今回筆者が行ったギリシャへ観光(避暑)へ行くのか」と言うことです。

(ギリシャ国に属し地中海の真ん中に位置する島)での体験です。もしかするとそのとなりの島サントリーニ島をご存じの方もいらつしやるかも。かつてウィスキーで有名なサントリーの社長、佐治敏三さんがごよく愛した島として有名です。多くのヨーロッパ人が、太陽と深くまで透き通って見える青い地中海の海を求めて行く有名な避暑地です。ヨーロッパ本土から離れていると言う地理的な理由もあり、日本人の皆様にはそれどころか思った感じで、あまり耳にしたことのない方も多いかと思えます。もし興味のある方は、Googleでちょっと検索してみてください。



冒頭に載せました地図をご覧ください。今回、私が20年来の友人と一緒にスイスのチューリッヒ空港から約3時間弱で飛べるギリシャのクレタ島

冒頭に載せました地図をご覧ください。今回、私が20年来の友人と一緒にスイスのチューリッヒ空港から約3時間弱で飛べるギリシャのクレタ島

その前に簡単に説明をさせていただきますと、クレタ島での滞在先は、Hotel Out Of Blue Resortと言う長期滞在型のコンドミニアムと言う宿泊ホテルでした。掲載の写真の通り、地中海の海に囲まれている小さな半島全体を敷地とする巨大なリゾートホテルでした。

その前に簡単に説明をさせていただきますと、クレタ島での滞在先は、Hotel Out Of Blue Resortと言う長期滞在型のコンドミニアムと言う宿泊ホテルでした。掲載の写真の通り、地中海の海に囲まれている小さな半島全体を敷地とする巨大なリゾートホテルでした。



寒い冬を過ごさなければならぬからです。イギリスとか北欧の国々に住んでいる人にとっては、11月から2月までの4か月間の間は、午後の16時にはもう日が落ち、電灯のスイッチを入れ、朝陽が昇る翌朝の10頃まで蛍光灯の下での生活を強いられると言う地理的な理由が一番で、とにかく温かく太陽が燦爛と照っている地中海の国へ休暇に行くことで、ビタミンDを摂取しようとしているのかも知れませんね。近年コロナが猛威を振るっている中、コロナにかかった米国大統領のトランプ氏も、大量のビタミンDを摂取して病を治したとか。ヨーロッパの人は、昔から誰に教えられ事もなく、長い暗い冬を乗り切るために、夏休みを2週間とか、なかには4週間もの長期のヴァケーションをとり、このようなコンドミニアム、長期滞在タイプの宿泊施設を好む理由の一つかも知れないですね。

寒い冬を過ごさなければならぬからです。イギリスとか北欧の国々に住んでいる人にとっては、11月から2月までの4か月間の間は、午後の16時にはもう日が落ち、電灯のスイッチを入れ、朝陽が昇る翌朝の10頃まで蛍光灯の下での生活を強いられると言う地理的な理由が一番で、とにかく温かく太陽が燦爛と照っている地中海の国へ休暇に行くことで、ビタミンDを摂取しようとしているのかも知れませんね。近年コロナが猛威を振るっている中、コロナにかかった米国大統領のトランプ氏も、大量のビタミンDを摂取して病を治したとか。ヨーロッパの人は、昔から誰に教えられ事もなく、長い暗い冬を乗り切るために、夏休みを2週間とか、なかには4週間もの長期のヴァケーションをとり、このようなコンドミニアム、長期滞在タイプの宿泊施設を好む理由の一つかも知れないですね。

寒い冬を過ごさなければならぬからです。イギリスとか北欧の国々に住んでいる人にとっては、11月から2月までの4か月間の間は、午後の16時にはもう日が落ち、電灯のスイッチを入れ、朝陽が昇る翌朝の10頃まで蛍光灯の下での生活を強いられると言う地理的な理由が一番で、とにかく温かく太陽が燦爛と照っている地中海の国へ休暇に行くことで、ビタミンDを摂取しようとしているのかも知れませんね。近年コロナが猛威を振るっている中、コロナにかかった米国大統領のトランプ氏も、大量のビタミンDを摂取して病を治したとか。ヨーロッパの人は、昔から誰に教えられ事もなく、長い暗い冬を乗り切るために、夏休みを2週間とか、なかには4週間もの長期のヴァケーションをとり、このようなコンドミニアム、長期滞在タイプの宿泊施設を好む理由の一つかも知れないですね。

